Challenge a single lens reflex digital camera !

一眼レフで写真画像をグレードアップ！

デジタル一眼レフカメラ撮影術入門

コンパクトで手軽なデジタルカメラはすっかり身近なものになった。しかし、スナップ写真でももっと美しく撮りたい、作品として仕上げたいなどと思うのなら、機能的にワンランク上のデジタル一眼レフカメラだ。コンパクトデジカメとどこが違うのか、その魅力を探ってみよう。

Produced by MYCOM　AD Text：竹澤 宏、渡辺幸雄　Design：Jams

初心者の人にこそ使ってほしいデジタル一眼レフカメラ

最近、デジタル一眼レフカメラが手頃な価格になってきており、魅力を感じている読者も多いことだろう。しかしその反面、使いこなせるかどうか不安に思い、結局は普通のコンパクトデジカメを購入してしまったという人も多いはずだ。

そもそも、デジタルに限らず「一眼レフカメラ」と言えば上級者やプロが使うものと思われがちだが、もはやそんな時代ではない。一眼レフを使ったほうが写真の仕組みがよく分かる。実は、写真の上達を願う初心者にこそ使ってもらいたいカメラなのだ。

●サイズ・重量

一眼レフとコンパクトカメラの違いは、まずその大きさ、重さだろう。これに関しては一眼レフは圧倒的に分が悪い。しかし、実際に手にとってホールディングして、ファインダーを覗いて見てほしい。写真を撮るための道具としては心地よい大きさ、重さであることに気付くはずだ。

小さいというのは、持ち運ぶときには大きなメリットになる。ただ、いざ撮影というときにコンパクトデジカメは軽すぎて手ブレをしやすかったり、機能は多いのにシャッターを押すだけのフルオート機としてしか使っていないのでは？　どんなに小型でも「コンパクト」とは言い難い一眼レフのボディだが、そこにはメーカーの長年の経験から生まれた「撮影しやすいサイズ」が反映されているのだ。

●操作性

一眼レフデジカメにはダイヤルやボタンがたくさんあるため、操作が難しいと思われるかもしれない。しかしそれは逆で、それぞれの機能ごとにダイヤルやボタンが対応しているので、一度覚えてしまえば操作は驚くほどスピーディーだ。例えば、シャッタースピードを変えたい、絞りを変えたいと思ったら、一眼レフならシャッターダイヤルや絞りダイヤルを回すだけで済んでしまう。

一方、コンパクトデジカメでは、まずメニュー画面を呼び出して、そこから下の階層へ行って、お目当ての設定を変える……という手順が必要になる（マニュアル設定ができない完全オート機もあったりするが）。

多少でも撮影をしていれば、「イメージと少し違った」「もうちょっとここを強調したかった」「もっと色はこうならないかな」などと、被写体や条件によって設定をいろいろ変えてみたくなるもの。それはワンランク上の写真を目指すなら当たり前のことであり、その基本操作がスムーズにできるカメラならいろいろな設定を試してみたくなる。実際に試してみるとさまざまな写真の仕組みや作法が分かってきて、それを習得することで写真が上達する……これが先に述べた「一眼レフこそ初心者に使ってもらいたいカメラ」である理由なのだ。なにしろデジカメはダメでもフィルム代や現像代がかかるわけではないので、失敗を恐れる必要などない。

●レンズ

次に、一眼レフならではの魅力に、交換レンズが挙げられる。超広角から超望遠まで多彩な映像効果が得られるレンズが各社ともラインナップされている。標準ズームレンズ以外にも撮影目的に合ったレンズがあると、楽しさは倍増するだろう。

コンパクトデジカメでもだいたいはズーム付きなので、広角から望遠まで画角の変化は楽しめる。しかし、超広角のパースペクティブ感とか、明るい望遠レンズを使ったときのボケ味などはまさに一眼レフならではだ。

●オートフォーカス

連写性能の影に隠れて意外と見落とされがちなのはオートフォーカスの合焦スピード。コンパクトタイプにも連写機能を持つものがあるが、AFの合焦スピードが遅いために、フォーカスが合焦するまで待たなくてはならなくなることも多い。その点、一眼レフタイプは、連写性能もAF合焦スピードもコンパクトタイプの比ではないはずで、シャッターチャンスに強い。

データ量の増加に合わせて外部ストレージも上手に活用

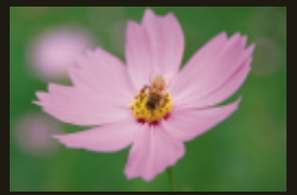
解像度や画質に関しては今さら言及するほどのことではないが、600万画素で35mmフィルムと同等と考えても差し支えないだろう。つまり、最近登場した800万画素クラスあるいはそれ以上のクラスのカメラというのは、実質35mmフィルム以上の解像度を持っていると考えられるのだ。ボディは35mmタイプなのに中身はプロニー判フィルムに迫る解像度、といったねじれ現象が起きているのだが、ユーザーにとっては喜ばしいことだろう。

ただひとつ気掛かりなのは、デジカメの進化とともに、画像1枚当たりのデータ量も増えていることだ。解像度が上がり画質も向上しているのだから仕方がないのだが、現実問題としてユーザー側も対策を講じなくてはいけない。コンパクトデジカメなら画質やサイズを落として撮影枚数を増やすのもいいだろうが、作品主体の一眼レフではそうもいかない。となるとメモリを増やすしかない。

ハードディスクもフラッシュメモリも以前に比べて安くなっているのが嬉しいところだが、特に旅行先などでは、何枚もメモリカードを持ち歩くよりはポータブルハードディスクを1台用意するほうが安心。バックアップにもなるし、ノートPCほどかさばらないので便利だろう。

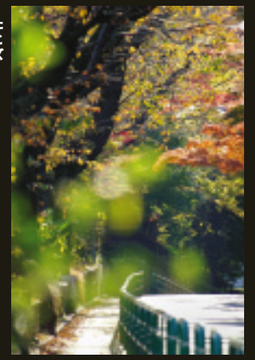
写真には二通りあって、一つは「写る写真」である。前者は携帯カメラでも十分だろうが、「写す」となると道具として満足する機能を持ったカメラでなくてはならない。それはまさにデジタル一眼レフカメラ以外に考えられない。

見慣れた渋谷の駅前でも、超広角レンズを使って超ローアングルで撮るとこんなふうになる。つまり「写真を写す」とはこういうことなのだ。



マクロ系のレンズを使えばかなりの接写がきく。大型の撮像素子はコンパクトデジカメにはないボケ味を出してくれる。

花に接写しながらも広角レンズの特性を活かし、周りの情景もうまく取り入れた例。



300mmという超望遠レンズを使った作例。35mmフルサイズに換算すると実に450mm相当である。望遠レンズ特有の遠近間のない映像が得られる。

交換レンズで広がる写真の世界

RAWデータとJPEG

デジタル一眼レフカメラでは、JPEGのほかにRAWデータでも保存することができる。RAWデータとは、レンズからの光を受けた撮像素子が信号を生成したときの「生のデータ」。JPEGやTIFFなどと違い、コンピュータ上では画像形式のファイルであるとは認識されない。そのため専用ソフトなどを使い、現像処理をすることで初めて、TIFFやJPEGなどの汎用的な画像データになる。

一方、JPEGは画像生成後に圧縮する形式なので、同じ容量のメモリカードでも撮影できる枚数はRAWデータ時とは変わってくる。手軽に撮るならデータ量の軽いJPEG、ここぞという1枚はRAW、という棲み分けができようか。今はカメラ内部の画像処理エンジンも進化しているので、JPEGでも十分高画質だ。

■撮影可能枚数例
（EOS Kissの場合、512MBメモリカード使用時）

形式	ファイルサイズ	撮影枚数
Large/Fine	約3.3MB（3456×2304画素）	155枚
Large/Normal	約1.7MB（3456×2304画素）	301枚
Middle/Fine	約2.0MB（2496×1664画素）	256枚
Middle/Normal	約1.0MB（2496×1664画素）	512枚
Small/Fine	約1.2MB（1728×1152画素）	426枚
Small/Normal	約0.6MB（1728×1152画素）	853枚
RAW	約8.3MB（3456×2304画素）	61枚

※JPEGのファイルサイズは被写体条件や現像パラメーターなどにより異なるため、枚数はあくまで目安です。

ポータブルHDD

飛鳥 Tripper mini

コンパクトボディにデジカメ画像を簡単保存！

旅行先や仕事先でメモリ残量を気にしながらデジカメ撮影をすることぐらい悲しいことはない。しかし、内蔵HDDポータブルストレージシステムTripper mini（トリッパーミニ）さえあればもう安心だ。

デジカメのCFカードを内蔵ハードディスク（20GB／40GB）に簡単バックアップ。大型液晶を搭載し、分かりやすい日本語メニューで操作も楽々。従来のTripperと比べて約1/2の大きさながら、本体駆動時間は約120分と約4倍も長持ちになった。Win、Macの両方に対応し、インターフェースはUSB 2.0／1.1。ファイル形式を問わないので、パソコン用外付けハードディスクとして活用するのもオススメだ。

コンパクトサイズでデジカメのお供に最適！

●対応メディア：コンパクトフラッシュType I・II、マイクロドライブ ●対応OS：MacOS 9.0～9.2.2、MacOS 10.1.3～10.1.5/10.2.x/10.3.x、Windows98/98SE/Me/2000/XP ●インターフェース：USB 2.0/1.1 ●サイズ：90（W）×32（H）×70（D）mm ●重量：約205g ●価格：37,800円（20GBモデル）、43,800円（40GBモデル）共に税込

お問い合わせ　飛鳥
TEL.03-3794-3726
http://www.aska-corp.co.jp/

デジタル一眼レフカメラ

キヤノン EOS Kiss Digital N

高画質と使いやすさが進歩した超小型一眼レフ

キヤノンのデジタル一眼レフカメラEOS DIGITALに、シリーズ最小・世界最軽量ボディを実現したEOS Kiss Digital Nが登場した。

キヤノン独自の約800万画素大型単板CMOSセンサーと高性能映像エンジン「DIGIC II」によって、高精細かつ自然な色合いを実現。さらに約0.2秒の高速起動、スーパーインポーズ機能装備の広視野・高速7点AF、連写性能は約3コマ／秒で、JPEG（ラージ／ファイン）で約14枚の連続撮影可能などという高レスポンスを誇る。もちろん、EF-Sレンズを含むすべてのEFレンズが使用可能だ。また、プリンタへ直接接続して簡単操作でプリントできるイージープリントボタンも搭載した。

画像確認も1.8型TFT液晶モニターでOK

●記録媒体：CFカード（タイプI、II準拠） ●使用レンズ：キヤノンEFレンズ群（EF-Sレンズを含む） ●撮像素子：高感度・高解像度大型単板CMOSセンサー ●有効画素数：約800万画素 ●サイズ：126.5（W）×94.2（H）×64（D）mm ●重量：485g（本体のみ） ●価格：オープンプライス

お問い合わせ　キヤノン お客様相談センター
TEL.050-555-90002、043-211-9556
http://canon.jp/eos-d/

■企画内に掲載されている製品の詳細情報を今すぐGETしよう！　【Product Information DB Web】http://book.mycom.co.jp/db/

※掲載の価格はすべて総額表示方式に基づいた税込み価格です。　※記載の製品名、会社名は各社の商標または登録商標です。